

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶらいまりステップ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者への丁寧な情報共有と対応。	・日々の活動内容やお子様の様子だけでなく、保護者様の不安や疑問に迅速に対応できるように、面談の時間を組ませていただいたり、日々の送迎時のお話の時間を大切にしている。	・送迎時に保護者と丁寧に対応することで信頼関係をさらに深め、安心して利用していただける事業所になるように心がけていく。
2	・お子様の発達や成長段階に合わせた活動内容の工夫。	・活動内で直接お子様に関わっている職員以外にも客観的にお子様の様子を観察するようにし、訪問支援員も交えて、多角的にお子様の成長、発達を見立てるようにしている。	・お子様の見立てが偏らないよう、積極的に職員が意見を出し合い、同じ目標を持って、職員がお子様に関わっていきけるよう心がける。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・イベントなどをうまく計画、運営できていない。	・事業所の空き時間であったり、スタッフの体制上、うまく計画、運営ができない。	・土、日開催や合間の時間を作ってイベントの企画をしていくなどの工夫が必要だが、普段の支援に影響が出ないように配慮したい。
2	・安全に対する訓練や取り組みの発信ができていない。	・職員の思いとして、情報発信の苦手さと情報発信の継続の難しさがある。(他の仕事内容に時間を割いてしまう)	・情報発信することが保護者の不安解消になるのであればもっと積極的に取り組んでいきたいので、保護者にも情報発信が必要かどうか意見を聞いてみたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぶらいまりステップ
------	-----------

公表日 令和8年 3月 18日

利用児童数 令和8年 2月 28日 回収数 29/40

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91	6	0	3	・部屋に入ったことがないのでわかりません。 ・ぶらいまりステップは空間に「何も無い」のでとても良いのだと思います。必要なものだけを持ってきて、課題へも取り組みやすい。	・視覚優位のお子様が多いので、必要以上の視覚情報は置かないようにしています。慣れてきたら視覚的な情報がある中でも集中できるという環境を作っています。段階に合わせて、環境にも変化をつけています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	97	3	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	97	0	0	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	97	0	0	3		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	97	3	0	0	・帰りのあいさつの後に用意の終わった子どもから絵本を見る時間があるのですが、そちらに気が向き帰りの準備に集中できないお子さんがいます。それも、周りを見て動く経験の一つだとは思いますが…。 ・皆様とても頼れる先生方です。特に親子通園時代からの先生方は、もう、家族より信頼できます。	・準備の終わったお子様は少し離れた場所で、視覚的にも影響のないように環境を作っていくしたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	97	0	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100	0	0	0	・困りごとや相談したことを的確にまとめて計画書の内容もとてもわかりやすい。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	97	3	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	97	3	0	0	・活動計画を毎月配布いただけ、内容は細かく記載され、ねらいも書いてあり、とても良いと思う。	・できるだけ活動計画は前月の最終週には配布させていただくようにしますが、HUGでもお知らせさせていただきますので、ご活用ください。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	36	6	10	48		・現状、交流を持つことは難しい状況です。申し訳ございません。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	46	13	0	41	・外部の研修・講演会のお知らせもして下さるのでとても助かっている。	・少しでも、今の保護者様が欲しい情報が提供できるよう、お知らせしていきます。 ・ペアトレに関しましては、プログラムを用いてグループで行うことはしていませんが、お子様の状況に合わせてスタッフが情報提供させていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100	0	0	0	・HUGがわかりやすくてとてもありがたいです。	・HUGをご活用いただき、ありがとうございます。内容に関してご不明な点がございましたら、スタッフにお声がけください。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	97	3	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	17	10	55	・このカテゴリーに入るかわかりませんが、交流できる環境は作っていただいていると感じています。	・父母の会はありませんが、今後、保護者向けにお話をさせていただいたり、交流の場としてのイベントを提供させていただけるよう、検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94	3	0	3		・いつでも相談や面談を行っています。お気軽にお声がけください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	97	0	3	0	・保護者へのお伝えの場所が玄関なので、別の保護者に内容を聞かれるのでは？と気になることがある。 ・HUGの導入がとてありがたいです。	・細かいお伝えになってしまう場合は、距離を開ける、場所を変えるなどの工夫をさせていただきます。ご意見ありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	90	0	0	10		・定期的にSNSなどの更新はしております。自己評価の結果などはホームページでご覧いただけます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	67	6	0	27		・訓練などは行っており、活動計画にも盛り込んでいますが、保護者様へのお知らせは少なかつたと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63	3	0	34		同上
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	97	0	0	3		同上
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	88	6	0	6	・今までケガをしていない	・おかげさまで、病院に行かぬばならないけがをされたお子様はおられない状況です。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100	0	0	0	・同じ環境、同じ先生達で「安心」と子どもから聞いています。	・お子様の安心が一番です。ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	97	3	0	0	・通所日は朝からご機嫌で保育所への登所も普段よりスムーズで助かっています。 ・次は何するの？ととても興味津々で楽しそうに通っています。 ・同じ課題、新しい挑戦もバランスよく計画していただき、楽しみに通っています。 ・毎週、楽しみにしています。	・私たちは、お子様が活動の中で自分の苦手なことにも立ち向かう姿の後押しをさせていただきながらも、最後はお子様で自分で自分の気持ちを克服していかれる姿を間近で見せていただいております。そんなおもしろいこと「楽しみ」と感じてもらえることは私たちの励みになります。ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100	0	0	0	・想像よりもはるかに子どもの発達を感じてお任せしてよかったと感じています。 ・親身になって相談を聞いてくれてアドバイスや励ましの言葉をいただいてもありがたいです。 ・一人ひとり、特性に合った支援、声かけで安心です。 ・いつもありがとうございます。息子が小学校へ行ってもお世話になりたいです。	・ありがとうございます。私たちの支援は、お子様が自分の力に気づき、発揮する方法を知り実行する為のものです。私たちはきっかけづくりをさせてもらっているだけなので、お子様の成長はお子様の方です！どんな時も保護者様が受け止めて下さることで自信につながっています。今後もお子様の変化を保護者様と一緒に応援させていただきます。

(単位は%)

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぶらいまきステップ		公表日		令和8年3月18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100	0	・その都度、安全面等を考えて配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100	0	・状況に応じて衝立で部屋を仕切ったり、ホワイトボードで視覚的に情報を伝えるように工夫している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100	0	・活動内容の振り返り等は常に話し合いをしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100	0	・個々と家庭環境や園での様子などから課題やニーズは把握できるよう話し合いをしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0		・主となる職員がサブの職員に向けて必ず事前に役割分担や今日の活動の方針や目的を伝達している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	86		・サービス担当者会議の機会が少ない。関係機関との会議がある場合は統括管理者と訪問支援員が出席することが多い。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	43	57	・研修等の参加、伝達は機会に応じてなされている。	・センターがないので、スーパーバイズの機会はないが、相談支援専門員など、外部からの意見をもらうなどして、事業所内だけではない意見を取り入れるようにしている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	29	71		・現状、交流は難しい状況だが、地域には散歩や買い物で出るようにはしている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100	0		
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	43	57	・活動内容によってはご家族への参加や協力をお願いする形で行っている。	・活動の内容によって、きょうだい児も含めた活動の参加をお願いすることもあるが、並行通園の利用者が多いことや、きょうだい児の予定もあり、状況として難しい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	86	14		・どなたに対しても相手に合わせて伝わりやすい方法を考慮している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43	57	・過去には事業所でのイベントもおこなった。必要や求めに対しては検討していける事業所だと思います。	・今年度の前半には事業所内でヨガ教室などのイベントを行ったが継続が難しかった。また、企画はしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	86	14		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	86	14		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	86	14	・服薬が必要な子ども、てんかんの子どもが今年度はいない。	・今後、配慮の必要な方がいれば当然、保護者様と情報共有しながら支援していきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	72	28		同上
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	86	14		・訓練や話し合いは行っているが、職員が自信をもって対応できる状況や周知の弱さがあるのであれば改善していきたい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	86	14		同上
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100	0			